

NEWS LETTER

銀座街づくり会議・銀座駐車場協議会
www.ginza-machidukuri.jp

〒104-0061 中央区銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

*このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています*許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます*

131
2025-05-16

銀座街づくり会議 駐車場協議会 シンポジウム

「歩いて楽しい街」銀座とモビリティの調和 vol.2 開催報告 ー銀座ヴィジョン 2040 に向けた可能性と共創ー

2025年2月17日(月)、銀座街づくり会議・銀座駐車場協議会は、シンポジウム『「歩いて楽しい街」銀座とモビリティの調和 vol.2』を開催しました。歩行者空間化を目指す「銀座ヴィジョン 2040」に向けた***特定路線**指定の検討を踏まえ、国内外で調査・研究に取り組まれている有識者をお迎えし、ブリュッセルの歩行者空間化の事例から、ヴィジョン実現の可能性を探る内容となりました。会場とオンラインを合わせて120名ほどの参加者があり、銀座の新たな都市像への関心の高さがうかがえる場となりました。

* **特定路線**…良好な通り空間形成を目的として、特定条件のもと、附置義務駐車場を免除される通り

■ 開催報告

開会の挨拶では、全銀座会代表幹事の齋藤充氏が「銀座全体を歩行者天国にする」というヴィジョンを掲げ、銀座は単なる商業地ではなく、街を共有資産として守り育てる場であると語りました。

宮下貴裕先生(武蔵野大学)は、銀座の歴史的背景から、現在の交通環境と景観や歩行環境向上が期待される「特定路線」の意義や可能性に言及しました。

武田重昭先生(大阪公立大学)は、現地ブリュッセルからオンライン登壇し、住民の視点から、生き生きとした豊かな歩行者空間と、その価値についてご報告くださいました。市民主体の活動の蓄積が公共空間を交流や記憶の場として再定義し、都市の文化的厚みを形成していることを写真とともに紹介されました。

基調講演で吉野和泰先生(鳥取大学)は、ブリュッセルでは行政主導ではなく、市民がアイデアや社会実験を通じ行政と協働しながら歩行者空間化を実現したことを解説。「空間の可能性を高めるように逆算的に計画検討を進めた点、その前提として市民らが長年にわたって研究・啓発を蓄積してきた点が、ブリュッセルの特異かつ学びの多い点である」と強調。市民主体の実践と、行政がそれを受けて動いたプロセス、さらには社会実験を経て段階的に空間を変えていく姿勢が、銀座の取り組みにも共鳴するとお話しくださいました。

パネルディスカッションでは、堀田峰明全銀座会街づくり副委員長が「銀座は大きな公共空間であり、事業者・市民・来街者の協働意識が必要」と銀座の固有性を語りました。街と行政が連携し、信頼関係の

構築を目指すことの重要性も共有されました。

最後に、銀座街づくり会議アドバイザーである、中村文彦先生(東京大学)、中島直人先生(東京大学)、石山さつき先生(日仏都市研究者)の3名から、銀座の取り組みが都市の文化資産として全国モデルになり得ること、市民と行政・専門家の協働の重要性についてコメントをいただきました。銀座の挑戦が、全国に広がる可能性と未来への期待を感じさせるものと評価されました。

閉会の挨拶では、東條幹雄全銀座会街づくり委員長が、銀座が今後も最先端の都市像を描き続ける意志を示し、次回シンポジウムへの期待を込めて締めくくりました。

■ 銀座ヴィジョン 2040 発表シンポジウムのご案内 ー「銀座全体を歩行者天国へ」ー

「銀座ヴィジョン 2040」は、銀座全体を歩行者天国とする未来像を描く共有ヴィジョンです。皆さまとともに銀座のこれからを考える機会として、本シンポジウムを開催します。

これまでの歩みを振り返り、未来に向けた挑戦を発表します。

日時: 2025年 5月21日 (水)

15:00 ~ 17:00 (14:30 開場)

会場: esports 銀座 studio + オンライン

参加費: 無料 (会場定員: 150名・要申込)

発行・問合せ先: 銀座街づくり会議事務局・TEL 03-3567-1535 (担当: 竹沢・黒田・上野)